



柴高通信



宮城県

柴田高等学校

2025.10.17

第7号

思い出と学びの4日間 -普通科関西方面修学旅行-

10月1日（水）から4日（土）までの3泊4日、2学年は関西方面への修学旅行を実施しました。仙台空港から伊丹空港へと飛び立った生徒たちは、初めての空の旅に胸を高鳴らせながら、いよいよ関西の地に降り立ちました。



【1日目】大阪の街へ——班行動でのびのびと

到着後は「関西万博会場（夢洲）」や「海遊館」などの班別行動に出発。班ごとに計画を立て、昼食や観光を楽しみながら、公共交通を使った移動にもチャレンジしました。

夕方には新大阪のホテルに到着。初めての大都市での行動に少し疲れた様子もありましたが、夜は笑顔があふれました。



【2日目】U S Jで笑顔あふれる一日

この日の目的地はユニバーサル・スタジオ・ジャパン！朝からテンションは最高潮。人気アトラクションを巡り、キャラクターたちと写真を撮りながら、思い出に残る一日を過ごしました。

夜は京都のホテルに移動。班長会議では「時間を守る」「助け合う」など、仲間意識がより深まったことを感じさせる発言も聞かれました。



U S Jでクラス集合写真を撮りました

入場前、クラスごとに集合写真を撮影。どのクラスも笑顔で出発です！



【3日目】古都・京都を巡る自主研修

3日目は班別自主研修。事前に計画したルートに沿って、宇治平等院・金閣寺・伏見稻荷大社・嵐山などをめぐり、それぞれの班が「自分たちの京都」を発見しました。

外国人観光客との交流や、おみやげ店での会話を通じて、文化の違いや日本の魅力を実感する貴重な体験になりました。



【4日目】大阪・新世界で締めくくり

最終日は清水寺での参拝からスタート。お土産を手にしながら京都の町に別れを告げ、大阪・新世界や道頓堀での散策を楽しみました。

通天閣の下で食べた串カツの味、にぎやかな看板、そして仲間と笑い合う時間——その瞬間ごとが、かけがえのない思い出になりました。



10月3日（金）、柴田町議会と本校が共催で「高校生と町議会議員との懇談会」を開催しました。

本校生33名、町議会議員18名が、「20年後も住み続けたいまち～もしあなたが町長な



生徒たちは、商業施設や交通の整備、若者が集える場づくり、募金やクラウドファンディングの活用など、多彩なアイデアを提案しました。

島 奏和さん（福岡中出身）は、

「自分たちの住む町をより良くするために話し合う機会が持てて、とても良かった。何をするにもお金が必要だと感じたので、町や県としてどうやって資金を増やしていくかを考えいくことが大切だと思った」

と話しました。

また、柴崎 純之さん（角田中出身）は、

「選挙制度について学べてとても勉強になった。地元の未来を考えるいい機会になり、これをきっかけに自分も選挙に参加したい。みんなの意見を聞いて、自分にはなかった考え方を知ることができた」と語りました。

生徒たちが地域の未来を自分ごととして捉え、真剣に意見を交わす姿が印象的でした。



秋空の下、全力で駆け抜けた2日間 -第39回校内体育大会-

10月8日（水）・9日（木）の2日間にわたり、第39回校内体育大会が行われました。初日は運動会種目、2日目は球技種目として実施され、どの競技にも熱気と笑顔があふれました。



1日目の運動会種目では、2人3脚リレーや騎馬戦、障害物リレー、玉入れ、大縄跳びなど、クラスの団結力が試される種目が次々と展開されました。クラス対抗リレーや部活動対抗リレーでは、仲間の声援を背にゴールを駆け抜ける姿が印象的でした。



2日目は、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ドッジボール、ソフトテニスなどの球技種目が行われ、体育館やグラウンドのあちこちで歓声が響きました。運動部員の活躍はもちろん、普段は見られない生徒の表情やチームワークが光る場面もありました。



どのクラスも思い思いのデザインで作ったクラスTシャツを身にまとい、色とりどりの個性が咲きそろいました。仲間とともに汗を流し、笑い合う姿からは、一人ひとりの成長とクラスの絆の深まりが感じられる2日間となりました。